

No. 78

2017. 8. 30発行



ちよぞつ娘

からうら

飛んだ
とんだ



「レヴィタかつうら」 オープン ②

四国大学と連携 ④

災害対応大丈夫か！ ⑦ ▶ ⑮
一般質問で迫る

新シリーズ 協力隊が走る ⑮

地域活性化センター 「レヴィタかつうら」がオープン



かつうら創生の発信拠点に



「勝浦町地域活性化センター」の設置及び管理に関する条例」を制定
8月9日「レヴィタかつうら」
オープン

中山横瀬簡易水道工事請負契約
1億6千万円を承認

一般会計補正予算

主なもの

- ・固定資産税再調査費用 581万8千円
- ・立川の不燃物処理場 圧縮機修理費 200万円



正副議長決まる

議長に節 公一議員、副議長に美馬友子議員



副議長
美馬友子



議長
節 公一

就任にあたりひと言

「進化から深化へ」

通年会期制の導入やネット配信など、議会改革に取り組んできているが、町民の方にその効果を認識していただけているのかどうか。
議会だけの改革になっていないかどうかを、今一度検証し、新しい制度が有効になるよう、さらに努力したい。

議案に対する質疑

大西議員 中山横瀬簡易水道改良工事で、水道料金の値上がりはあるのか。
また、濁りは解消されるのか。工事完了時期は。

柳澤建設課長 水道組合と協議し、一律値上げで合意した。ろ過施設の更新により濁りは解消される。来年3月までに完了。

仙才議員 固定資産税の課税漏れが発覚し、再発防止のために登記課税連携システムを導入予定だが、対策は万全か。

久木税務課長 登記情報が法務局から電子データで提供されるので、課税漏れに効果を発揮する。
今後、担当職員を研修に参加させ人材育成を図り、信頼回復に努める。

通年の会期決まる

28年		29年	
7月(若あゆ会議)	11・26・27・28日	1月	16日
8月	22日	2月	15日
9月	12・13・14・27日	3月(ひな会議)	6・7・8・9・20・22・23日
10月	19日(子ども議会)	4月	24日
11月(みかん会議)	8・15・16・17日	5月	15日
12月	15日	6月	12日



講演会はほとんどスタッフ？

町民の声に対する質問

審議員

問 地方創生で「勝浦ドラマ」を作る講演会を開催したが、一般参加者は8名であった。アドバイザー委託料など108万円の予算であったが、問題でないか。

答 山田企画総務課長

講演料などは適正と判断している。参加者が少なかったのはPRの方法に問題があった。

井出議員

問 ストレスが原因で職員の仕事が増えており、心配されている。どう対応していくのか。

答 山田企画総務課長

組織体制として、職員の適正配置や人員増が必要となる。休職者には、職場環境の改善や復帰に向けてサポートしていく。

美馬議員

問 勝浦病院改築のパブリックコメントで町民から寄せられた意見を、今後どのように活かしていくのか。

答 石木地方創生推進室長

「病院の跡地利用」、「薬局、喜楽苑との動線」、「医師の確保、小児医療に関すること」、「進入路とバス停留所の設置」など88件の意見があり、早い時期にホームページで公表する。

6月会議

第1回6月会議

女性委員誕生

農業委員11人の選任に同意し、初めて女性委員3人が誕生した。

「広域ごみ処理施設整備事業」の管理運営を徳島市に委託する規約を承認。

町民の声に対する質問

美馬議員

問 小学生の夏休みのラジオ体操を、町民の健康増進のために一斉放送できないか。



自主的にラジオ体操 (石原地区)

答 笹山教育委員会事務局長
子ども会や各学校からの要望はない。

答 岡本福祉課長

町民の健康づくりのために、kīフレンズとの連携を検討したい。

第2回6月会議

町長給与

6カ月30%カット

特別職の給与等の条例改正を承認。

国清議員

問 「税の課税漏れ事件」の責任をとって、報酬カット30%と言っていたが、出された議案は実質20%となっている。

答 中田町長

指摘のとおり、6カ月間30%カットとする。

四国大学と連携

7月6日、勝浦町議会は四国大学との「包括的連携協力に関する協定」を締結し、「魅力ある地域づくり」や「人材の育成」のため相互に協力する。

この連携により議会活動を活性化し、議会改革を進めるとともに、各議員の資質向上を図

るため、四国大学の本田利広教授（地域経営論）と萩原八郎教授（都市地理学）のゼミに参加する。

また、議員が講師となつて地域の課題を提示し、専門家や学生との討論を通じて課題解決の方策を探る。

7月18日に笹議長が講師となり、「あなたが議員ならどうする」とのテーマで講義を行った。

今後、大学教員等専門家のアドバイスを心得、議会のICT化や議会広報の見直しなど、議会改革を進めたい。



協定締結（松重学長と笹議長）

まちの声 キヤッチボール

8月6日「阿南方面への通学を支援する保護者会」と議員との懇話会を開き、通学バスの利用状況と今後の課題について意見交換した。

会員 通学バスのことを知らない人がいる。

議員 案内時期や方法を工夫する必要がある。

会員 現状は、阿南方面へ進学した

中高校生約30人のうち、バス利用対象者は15名。また、朝夕それぞれ1便運行しており、平均乗車人数は5、6人となっている。

議員 今年度は車両を大型化し、



課題が多い通学バス

町営方式で運行しているが、予算面で問題がある。

会員 今後、利用者が増えると大型車が必要となる。

議員 阿南方面への通学支援は議会からの提言によって実現した。

今後も安定的に継続されるよう、執行部に対して改善を求める。

議会広報の視察に来庁



活発な意見が！

6月21日 松茂町議会広報特別委員会 6人

8月3日 岡山県浅口市議会広報特別委員会 7人

住民への分かりやすい紙面づくりをめざすため、本町の編集方針、写真や紙面づくりで工夫していることなどを説明した。

また、議会改革など活発な意見交換があり、有意義な研修ができた。

委員会構成が変わりました

議長指名により7月11日から

議会広報常任委員会

委員長 美馬友子 副委員長 松下一一
委員 仙才 守 委員 松田貴志
委員 国清一治



議会運営委員会

委員長 松田貴志 副委員長 仙才 守
委員 美馬友子 委員 井出美智子



東部広域農道整備促進特別委員会

委員長 森本 守 副委員長 麻植秀樹
委員 仙才 守 委員 大西一司



勝浦病院改築特別委員会

委員長 井出美智子 副委員長 国清一治
他全員

防災対策特別委員会

委員長 麻植秀樹 副委員長 国清一治
他全員

地方創生特別委員会

委員長 大西一司 副委員長 松下一一
他全員

議会事務局職員

議会事務局長 河野 稔彦
事務局臨時職員 武市 理加



小松島外三町村衛生組合議員

松 下 一 一 篠 公 一
大 西 一 司



監査委員
松田貴志議員
議会選出

一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

町の課題に切り込む!

質問議員	質問事項	ページ
美馬友子	1、災害時、パワー不足が心配 2、救急救命士、導入の効果は 3、ホームページ、充実した情報発信を	7
仙才守	1、ケーブルテレビ、セット料金の見直しを • インターネットの利用実態は • 料金見直しは 2、文書管理は適正か	8
松下一一	1、宅地造成、現状と今後の計画は 2、大災害時の対応は 3、助成で農業政策を 4、どうするのか、果樹試験跡地	9
井出美智子	1、有害鳥獣、ジビエ解体処理場を 2、地籍調査を早く 3、広域化で町の業務は	10
森本守	1、専門学校、進入路の雑木管理を 2、福祉センター、垂れ幕復活を 3、鳥獣害対策 4、農業にみつばち対策を	11
麻植秀樹	1、立川溪谷、アクセス道の整備を 2、防災対策、危険箇所の把握は 3、災害時の情報発信は	12
松田貴志	1、固定資産税の課税漏れ、 出馬表明より信頼回復が先ではないか 2、かつうら創生、杉の子基金の運用は適正か 3、どうするのか、道の駅周辺整備 4、高校進学時の学区制撤廃を	13
国清一治	1、アグリサポート事業、みかんが香る元気なまちへ 2、音楽で町を活性化、その支援策は 3、なぜ進まない、新浜勝浦線「星谷工区」 4、町民の信頼回復は「税の課税漏れ事件」	14
大西一司	1、沼江バイパス3期工事、土捨て場 地権者の理解を 2、生比奈小学校、東側通学路整備 3、横瀬橋東側の県道改良 4、役場内のガバナンス(統治・統制)はとれているか 5、町長4選出馬表明、動機やめざすものは	15

会議予定日

傍聴に来てよー!

9月12日~14日、27日 10月19日(子ども議会) 11月8日、15日~17日

災害時

パワー不足が心配

地域組織の協力（企画総務課長）



美馬友子 議員

問 最大限の警戒を呼びかける「特別警報」はいつどのように発表されるのか。

答 山田企画総務課長
気象庁が発表し、テレビやラジオ等で放送される。

町は防災無線や文字放送で発信する。

問 災害時の放送マニュアルはあるのか。

答 山田企画総務課長
災害時の準備情報、避難勧告、避難指示と段階を追って進めていく。

問 町外の職員が多く、災害時の対応がパワー不足になるのではないか。

答 山田企画総務課長
職員が半数を切るような状況になり、消防団や自主防災組織、防災士等に頼るところも多くなる。今後は、住民の意識を高めていく啓発活動にも取り組む。

問 情報や知識がなくては呼びかけても行動に移せない。

答 山田企画総務課長
広報紙やホームページでより分かりやすい情報や啓発を進めたい。



とっさの事故対応訓練

救急救命士 導入の効果は

問 救命士を導入し、どのような声が聞かれるのか。

答 山田企画総務課長
利用者から「専門家が付いてくれ安心できる」

という声が多い。

また、「患者の状況や対応を確認するために時間がかかり、すぐ運んでくれたら」との声があるが、事前の情報把握が病院での素早い対応になる。住民には必要なことと説明していく。

問 心肺蘇生法の講習会の現状は。

また、役場職員は受講しているのか。

答 山田企画総務課長
6回の応急処置、AED講習会で、137人が参加。職員は受講していない。

①背部叩打法



もう片方の手で背部を数回連続で強く叩く

乳児の頭が下がるように顎を保持する

答 岡本福祉課長
子育てしやすい町となるよう、他町村を参考に作成したい。
また、冊子でなくホームページでダウンロードできるようにしたい。

問 妊娠から出産、育児に関する情報が少ない。若者はスマホを活用しているの、見てわかる「子育てガイドブック」をホームページで発信すべき。

答 藪下副町長
職員研修を行い、使いやすいホームページをめざし、記事の更新に努める。

問 町の広報誌は情報が満載しているが、ホームページには新しい情報がない。

ホームページ 充実した情報発信を

ケーブルテレビ

セット料金の見直しを

サービスを選択できることが
望ましい（町長）



仙才 守 議員

インターネットの 利用実態は

問 インターネットはどのくらい利用されているのか。

ひな会議で約束したアンケートは実施したのか。

答 山田企画総務課長
業者からは個人情報
守秘義務を理由に情報
もらえない状態が続
いている。
アンケートはまだ実
施していない。今年
度中には調査し、答
えを出す。

料金見直しは

問 インターネットを使
っていない人が、11
年間の費用を払い続
けている。住民はこ
れを理解したうえで
契約しているのか。
また、この契約は法
的に問題ないのか。

答 山田企画総務課長
他の町村も同様に実
施している。法的に
問題はないものと思
っている。
ただインターネットに
ついては、加入者が
選択

できることが望まし
いと考えている。

問 パソコン等を持
っていない住民はイ
ンターネットを利
用できないのに、
インターネット接
続料金を



を支払っている。
車を持っていない
のに、車両通行料
を払っているに
等しい。
道義的に問題が
あるのでは。

答 中田町長

当初よりセット料
金と余りが経過し
た。
利用状況を調査
し、実態に
応じたサービス
内容にする必要
がある。
基本的には住
民がそれぞれ
サービスを選
びたいと思っ
ている。
ただし現在の
設定料金を
維持できるか
という問題
もある。
よりよいサ
ービスをめ
ざし、関係
者と協議を
していきたい。

文書管理は 適正か

問 勝浦町の文書管理は
適正に行われている
のか。
また、文書管理シ
ステムの導入は検
討しているのか。

答 山田企画総務課長
文書保存規定と文
書管理手引書によ
り分類、整理、保
管、置換、廃棄等
を行っている。
文書管理システ
ムの導入は検討し
たが、時期尚早
ということにな
った。

問 議会はタブレット
端末を導入してペ
ーパーレス化を進
めているが、執行
部の対応は。

答 山田企画総務課長
対応する。基本
的には全部電子
化して議会側へ
配信する。

その他の質問

○土砂災害対策は



松下一 議員

宅地造成

現状と今後の計画は

検証し、計画に活かす (町長)

一般質問

問 横瀬地区の宅地造成で4区画中2区画が未契約である。

その検証と今年度事業の計画はどうなっているのか。

答 中田町長

立地条件は良かったが、売れなかった。

今後、検証し今年度の事業に活かし、用地選定する。

大災害時の対応は

対応は

問 発災後の迅速な救済計画は。

答 山田企画総務課長

物資等の輸送は運送会社、重機については建設業協会と協定を結んでいる。

人的協力要請、連絡調整は災害対策本部が行う。

問 災害廃棄物の一時保管場所及び仮設住宅用の用地の確保は。

答 山田企画総務課長

各学校の運動場やふれあいの里駐車場、道の駅の6カ所を一時集積所としている。

仮設住宅建設用地は、5カ所の公共用地を県に登録している。

助成で農業政策を

問 耕作放棄地の復元に對する助成はあるのか。

答 海川産業交流課長

耕作放棄地再生利用交付金(10アール当たり5万円の助成)の利用や、町単の農地再生事業(2アール当たり5万円)がある。

問 優良農地をどう確保していくのか。

答 海川産業交流課長

国の日本型直接支払制度があり、多面的機能の維持活動等に支援をしている。

また、町単補助金の活用を進め、農地の維持に努めたい。

問 勝浦みかんのブランド化を進めるため、放棄地を復元し、新植の助成が必要である。

また糖度計の導入により品質の統一が図れなければブランド品にはならない。

答 海川産業交流課長

国の果樹経営支援対策事業や町単独事業を組み合わせて支援する。

ポータブル式光センサーで果実の品質調査を実施している。

問 統一ダンボールは、市場出荷のみの使用に限るべきだ。

答 海川産業交流課長

今後、協議会で十分協議する。

どうするのか 果樹試験跡地

問 跡地、町の意向と県の考えは。

答 藪下副町長

町は、維持管理に多額の費用がかかるので取得は難しい。

県は、秋までに地元や町の意向を聞き、財産処分に進む予定だ。



荒れほうだい！増える放棄地

有害鳥獣

ジビエ解体処理場を

猟友会と協議する（町長）



井出美智子 議員

問 鳥獣被害が増えている。過去5年間の捕獲頭数、報償金の額は。

答 海川産業交流課長 捕獲頭数と報償金は、増えている。

	ニホンジカ	イノシシ	報償金総額(円)
H24	43	49	2,980,000
H25	113	77	5,000,000
H26	275	97	9,803,000
H27	243	153	10,000,000
H28	335	113	10,000,000

問 ワナの資格取得と技術向上が必要だ。今後の対策は。

答 海川産業交流課長 営農講座などを通じてワナの資格取得を働きかけ、県の技術交流会等への参加を呼びかけたい。

問 有害鳥獣を解体処理し、ジビエ料理として収入に変えることができると。解体処理場を作っているかどうか。

答 中田町長 那賀、三好などの処理施設は、補助金なしでは運営が厳しいと聞く。猟友会と協議したい。



必要では！解体処理場

地籍調査を早く

問 地籍の必要性が高くなっている。取り組みのスピードアップができないか。

答 柳沢建設課長 今年度から坂本に加え、生名でも実施している。

問 次はどの地区か。

答 柳沢建設課長 申請の上がつてきた地区から順に実施している。



ドローン

次は生名のめどがついてからと考えている。

問 調査作業の負担軽減のため、ドローンを使えないのか。

答 柳沢建設課長 地籍調査は、誤差10cm以内の精度が要求されるので、測量には使えない。

広域化で町の業務は

問 30年度をめどに行われる国保改革で、町の業務はどのように変わるのか。

答 久木税務課長 県が運営主体になり財政運営を行うが、それ以外は今までと同様に町が行う。

問 29年度国保税の算定は。

答 久木税務課長 前年度と変更はない。

問 納付できない世帯が増えている中、町は、どう対応していくのか。
減免制度の基準を設けてはどうか。

答 久木税務課長 条例改正で、2割、5割軽減世帯の所得判定基準が拡充され、負担軽減されている。

答 中田町長 納付が難しい住民に対し、適切な対応をしていく。

進入路の雑木管理を

協議し対応する（建設課長）



木が生い茂る進入路



森本 守 議員

問 オープンキャンパス等で県内外から大勢の来客があるが、木が生い茂って景観が悪い。また、スクールバスの運行にも支障があるので、早急に対策を。

答 柳沢建設課長 県や土地所有者等と協議して対応をしたい。

福祉センター

垂れ幕復活を

問 耐震工事で降垂れ幕が外されている。以前はどんな垂れ幕が設置されていたのか。

答 山田企画総務課長 設置されていたのは「人権を守ってできる心の和」「活力で作る豊かな我が郷土」と昭和57年議会で決議した「非核平和宣言の町」があった。

問 中田町長は原水爆禁止広島大会にも参加されたと聞いている。今年、核兵器禁止条約が国連会議で採決されたが、日本は参加しなかった。垂れ幕は、外部からの圧力で外したのか。それとも町長の政治姿勢が変わってきたのか。

答 中田町長 そうしたことだけでなく耐震補強工事の関係で外した。

問 福祉・人権・平和の勝浦町をアピールする垂れ幕の復旧をすべきでは。

答 中田町長 議会の決議を経ているので、その必要性はあると思う。

福祉センターの構造上、以前と同じように設置することは難しいが、検討したい。

鳥獣害対策

問 爆音機での鳥獣害対策に、免許や教育講習があるのか。

答 海川産業交流課長 爆音機については騒音規制法には該当しない。県のガイドラインにより、設置者に協力を求める。

農業にみつばち対策を

問 農業には蜂による交配が重要である。養蜂家に聞くと、みかんの花の後は花が少ない。農薬や除草剤等により、蜂の生存が危ぶまれる。対策はあるのか。

答 海川産業交流課長 農業では、特にネオニコチノイド系農薬の影響が大きいと言われている。農薬使用者と養蜂家の情報共有により対策を考

えたい。

その他の質問

- 手・足・口病について
- 病気と医師と薬について

立川溪谷

アクセス道の整備を

当面は維持補修で対応（建設課長）



麻植秀樹 議員



落石が多い危険な立川線

問 県外の観光客から、「立川溪谷は素晴らしい所だが、道は狭く路肩には落石箇所もたくさんあり、危険」との話を聞いた。また、リサイクル施設へのアクセス道であるが、安全と考えているのか。

答 柳沢建設課長

部分的な改良工事は行っているが、全線的にガードレール等が不足している箇所があり、危険な

所もあると認識している。

問 なぜ整備が行われなのか。

答 柳沢建設課長

狭い部分については集中的な改良も必要であるが、当面は維持補修で対応したい。

問 全面的な改修をする気はあるか。

答 柳沢建設課長
改善は進めている。落石除去については通報があれば直ぐに対応している。

防災対策、危険箇所の把握は

問 近年、町においては大雨による大災害が発生していないが、全国各地では、大雨による災害が発生している。町は危険箇所の把握はできているか。

答 柳沢建設課長

危険箇所については把握している。

問 28年度版、洪水防災マップを各戸に配布しているが、各地区を拡大した、より詳細な防災マップの作成、配布が必要でないか。

答 山田企画総務課長

町全体を把握するため



防災無線と移動無線

には必要だと考える。より詳細な防災マップを各戸に配布できるようにしたい。

災害時の

情報発信は

問 停電により町内放送が使用できない場合、スマートフォンや無線通信など、バッテリーさえあれば情報共有できる。

災害時、適切に情報発

信できる体制整備ができているのか。

答 山田企画総務課長

様々なケースを想定し、情報発信ができるよう整備したい。



固定資産税の課税漏れ

出馬表明より信頼回復が先ではないか

配慮が足りなかった（町長）



松田貴志 議員

問 固定資産税の課税漏れが発覚し、関係者の処分や再発防止策が示されない状況で、4期目の町長選出馬を表明した。順序が違うのではないか。

答 中田町長

諸般の事情により新聞紙上での表明になったが、配慮が足りなかった。

かつら創生

杉の子基金の

運用は適正か

問 杉の子基金の活用により起業を支援しているが、本来の目的、資金提供者の思いに伝えられているか疑問だ。提供者の思いをどのように理解しているか。

答 中田町長

資金提供者が起業し、多角経営してきた経験から、自らに続く起業家が育つことを期待していたと認識している。

問 綿密な事業計画の策定や起業後のフォローアップなど、専門家の助言が必要だ。

今後、基金が効率的に運用され、投資が最大化されるよう、要綱などを見直す必要があるのでは。



石木地方創生推進室長

答 石木地方創生推進室長
利用しやすさと適正化のバランスを考えながら、必要に応じて見直したい。

どうするのか

道の駅周辺整備

問 「道の駅」の在り方を含め、公園整備、駐車場の拡張などの周辺整備について、見直すべきでは。

答 中田町長

将来を見据えた施設づくりも必要だ。関係者の意見を聞き、考えたい。



道の駅 周辺整備は

高校進学時の 学区制撤廃を

問 従来より不公平でないかと問題視されてきたが、議論が停滞している。地方創生の観点からも公平ではない現行制度を正していくべきと考える。取り組み状況と今後の課題は。

答 椎野教育長

県教育委員会は学区制解消が難しいとの認識であり、解決策として徳島市との合区を要望している。

答 中田町長

市町村長会議において知事と教育長に陳情したが、明確な返答はない。不公平感が解消されるよう、引き続き要望したい。

その他の質問

- 宅地造成について
- 阿南方面の通学バス

アグリサポート事業

みかんが香る元気なまちへ

協力隊に技術習得支援 (町長)



国清一治 議員

一般質問



初めての摘果作業 (岡、八木協力隊員)

問 今年産みかんの作況をどう見ているのか。
また、販売力強化でブランド化や、みかんの機能性表示はどう進んでいるのか。

答 藪下副町長
みかんの開花調査では、花が少なく平均70%の着果と聞いている。
ブランド化に向けて統一ダンボールの普及を促進し、28年産は8万箱が利用され、品質向上や販

路拡大に取り組んでいる。機能性表示については生産工程管理、法人格の取得など、J Aと連携した取り組みが必要で、31年産をめどに進めている。

問 農業支援の「アグリサポートクラブ」に「地域おこし協力隊」2人を採用しているが、農業経験はないと聞く。技術習得はどうするのか。

答 中田町長
技術者として採用しているのので、研修や実習など技術習得を支援する。

音楽で町を活性化

問 活性化団体「Awaかつらサウンド・プロジェクト」が、ひな祭りのテーマソング「また君に逢いたくて」を勝浦ネットワークを通じて、全

その支援策は

なぜ進まない

新浜勝浦線

「星谷工区」

問 県道新浜勝浦線改良に向けて、6月に県に5度目の要望し「用地交渉

答 中田町長
PR活動など支援していききたい。

国発信を計画している。ぜひ町の支援を。



「また君に逢いたくて」全国発信を

が出来たところから着工」と前向きな答弁があったが、現状は進んでいない。

答 中田町長

私も「部分着工」の話は聞いている。
早急に県に出向き、再度要望する。

町民の信頼回復は「税の課税漏れ事件」

問 昨年の9月に発覚、半年以上議会に報告されなかった「固定資産税課税漏れ事件」。
町民に大きな負担と税に対する不信感を与えた。町のトップとして信頼回復にどう取り組むのか。

答 中田町長

あつてはならないことが起き、町民の信頼を失った。再発防止に向け、職員一丸となって取り組む。

沼江バイパス3期工事

土捨て場 地権者の理解を

自らお願いに行く(町長)

問 着工は町が土捨て場を確保することが条件だった。早く地権者の理解を求めるため、町長自ら出向き、高速道路と同時の完成をめざすべきだ。

答 事務所までの約400mを歩道整備する。28年度は約1億5000万円の予算で、このペースでいくと4年くらいで完了する。

横瀬橋東側の 県道改良

問 棚野地区の狭あい部の取り組みは前回の会議で、町長が自ら先頭に立って県と協議を進めるとのことだったが。

答 中田町長
4月に東部県土整備局へ要望に行き、町内の要望箇所の説明のなかで図

面を示し、町の考えを伝えた。

役場内のガバナンス (統治・統制)は とれているか

問 行政を推進する中で問題が多く発生している。「固定資産税の徴収漏れ」や「阿南方面行きバス」など、担当課内での意思統一が出来ていない。

答 中田町長
その対応や再発防止策に、中田町長の指導力が問われている。

町長4選出馬表明 動機や めざすものは

問 町長は6月に徳島新聞に4期目をめざし、来年1月の町長選に出馬する意向を表明したが、その動機やめざすものは何か。

答 中田町長
早く意思表示し、町政に対する明確な取り組みを発表した方が良いとの思いで今回の出馬表明となった。

現在、計画中の勝浦病院の建設をはじめ、3市に隣接した地の利を活かした事業などを推進したい。



大西一司 議員

生比奈小学校

東側通学路整備

問 進捗状況と完成予定は。

答 中田町長
最終的に私自身がお願いに行き、用地交渉を終わらせたい。

答 柳沢建設課長
農村婦人の家から漁協



一部拡幅され、安全になった通学路

答 椎野教育長

通学バスの件については、私の管理監督ができていなかった。

答 中田町長

課税漏れの件は住民の信頼を大きく裏切ったことに対して、心からお詫びを申し上げる。今後、職員一丸となって一日も早い信頼回復に努めていきたい。

新鮮力! 協力隊が走る

シリーズ①

勝浦町では、8人の「地域おこし協力隊」が活躍しています。今回からシリーズで、隊員を紹介します。

大友和紀さん



★まずは自己紹介

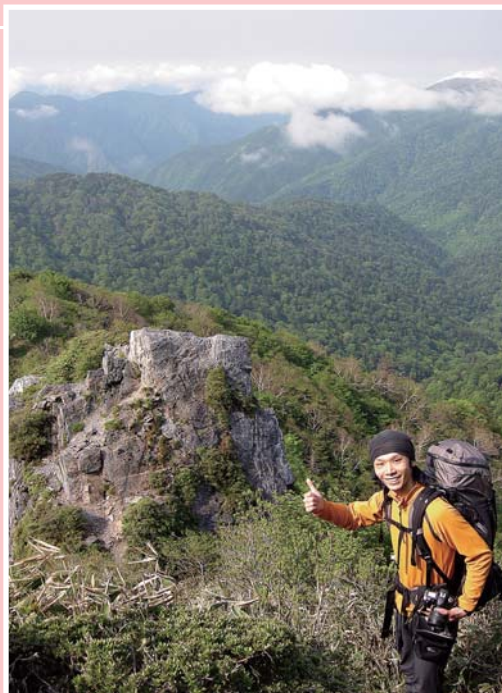
私は、大阪市出身の42歳です。東京の出版社で部長として広告部門を指導し、アートディレクターとして新雑誌の創刊、商品開発に携っていました。趣味はアウトドアです。

★どうしてこの町へ?

ツーリングやお遍路で勝浦町に訪れたことがあり、趣味と仕事をする場所が近い生活にあこがれ、田舎を探していました。協力隊の活動場所が「道の駅の運営」と言うことでこの町に決めました。

★どんな仕事を!

最初は「道の駅」に協力隊として配属され、4年後から定住施設「田舎トライアルハウス坂本家」の立ち上げと運営に関わりました。現在は、8月10日にオープンした移住・交流事業などを行う「レヴィタかつら」で業務をしています。



★将来の夢は

デザイン事務所を基礎とした、パブリックスペースを運営したい。本を読んだり、コーヒーを楽しむ場所がいいですね。趣味のマラソンにも復帰したいな〜。

「地域おこし協力隊」とは

人口減少の著しい地方において、地域の維持・強化を図るため、都市から人材を確保し、さらに定住へとつなげる制度で、期間は3年間です。平成21年4月から国の支援を受け始まり、勝浦町では22年から受け入れています。

編集後記

暦の上で秋とはいえ、外に出るのをためらう程の暑さが続いています。体調管理には十分気を付けてください。

最近、かつてなかった突然の豪雨が全国各地で降り、毎年大きな災害が起きています。これから台風シーズンを迎えますが、台風接近時には防災無線などを通じて避難情報に注意し、身の安全を確保してください。

10月19日には「子ども議会」が開かれ、創造豊かな提案が期待されます。ぜひ傍聴に来てください。

(美馬友子)



水防訓練 (みかん保育園)

表紙写真

今山・黒岩・星谷子ども会による水てっぼう遊び

